

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年4月30日 (2015.4.30)

【公開番号】特開2014-188280(P2014-188280A)

【公開日】平成26年10月6日 (2014.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-055

【出願番号】特願2013-68144(P2013-68144)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月13日 (2015.3.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御する遊技機であって、  
可変表示に伴って、前記有利状態に制御される割合が異なる複数種類のリーチ演出を実  
行可能なリーチ演出実行手段を備え、  
前記リーチ演出実行手段は、  
 一の種類のリーチ演出を開始した後に他の種類のリーチ演出に切り替えるリーチ切替演  
出を一の可変表示において複数回実行可能なリーチ切替演出実行手段を含み、  
リーチ演出の種類に応じて一の種類のリーチ演出を開始してからの前記リーチ切替演出  
の実行可能タイミングの数が異なる、  
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、上記特許文献 1 および 2 に記載の遊技機では、リーチ演出が切り替わる  
 タイミングがリーチ演出において同じタイミングであるため、演出が単調となり遊技興趣  
 を低下させるおそれがある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 上記目的を達成するため、本発明の第 1 の観点に係る遊技機は、  
可変表示（例えば特別図柄や飾り図柄などの可変表示）を行い、遊技者にとって有利な  
有利状態（例えば大当り遊技状態など）に制御する遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 など  
）であって、

可変表示に伴って、前記有利状態に制御される割合が異なる複数種類のリーチ演出を実行可能なリーチ演出実行手段（例えばステップ S 5 5 3 の処理を実行する演出制御用 CPU 1 2 0 など）を備え、

前記リーチ演出実行手段は、

一の種類のリーチ演出を開始した後に他の種類のリーチ演出に切り替えるリーチ切替演出を一の可変表示において複数回実行可能なリーチ切替演出実行手段（例えば特殊スーパーリーチのリーチ演出を実行する演出制御用 CPU 1 2 0 など）を含み、

リーチ演出の種類に応じて一の種類のリーチ演出を開始してからの前記リーチ切替演出の実行可能タイミングの数が異なる（例えばスーパーリーチ A のリーチ演出からスーパーリーチ B のリーチ演出に切り替える場合には、後段部分で切替え、スーパーリーチ B のリーチ演出からスーパーリーチ C のリーチ演出に切り替える場合には、前段部分と後段部分のいずれかのタイミングで切替えるなど）、

ことを特徴とする。